

村上市津波ハザードマップ

令和3年3月作成 村上市

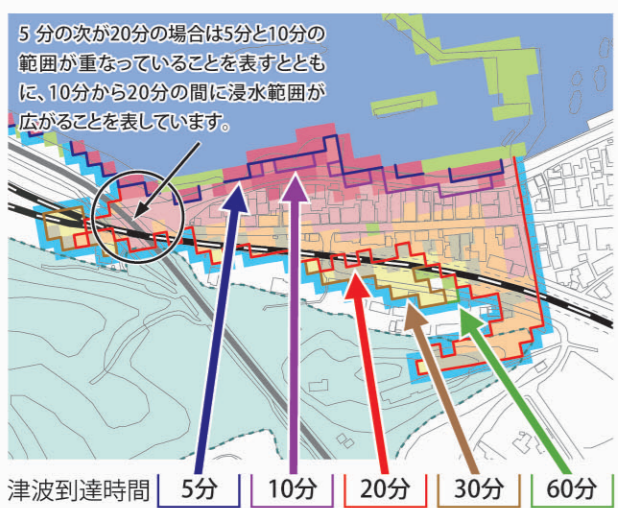
この津波ハザードマップは、平成29年11月新潟県公表の津波浸水想定区域図を基に、村上市沿岸部などの程度浸水する恐れがあるかを、お知らせする地図です。本マップを利用することにより、災害時に避難する際の被害軽減に役立てていただくことを目的として作成しました。

ハザードマップ改定のポイント

この津波ハザードマップに示す津波浸水想定区域は、平成26年8月に国が公表した新たな知見に基づく津波断層モデルを踏まえ、平成29年11月に新潟県が公表した新たな浸水想定を示しています(村上市管内の同区域は、令和2年1月に津波災害警戒区域に指定されました)。なお、前回マップで掲載した3つの領域が連続して発生する地震も起こりうる参考地震であるため、想定される浸水域を併せて掲載しています。
 ・今回の津波の浸水深は、浸水想定に定める浸水深に建物への衝突によって生じる津波の水位上昇を加えた値(基準水位)を採用しています。

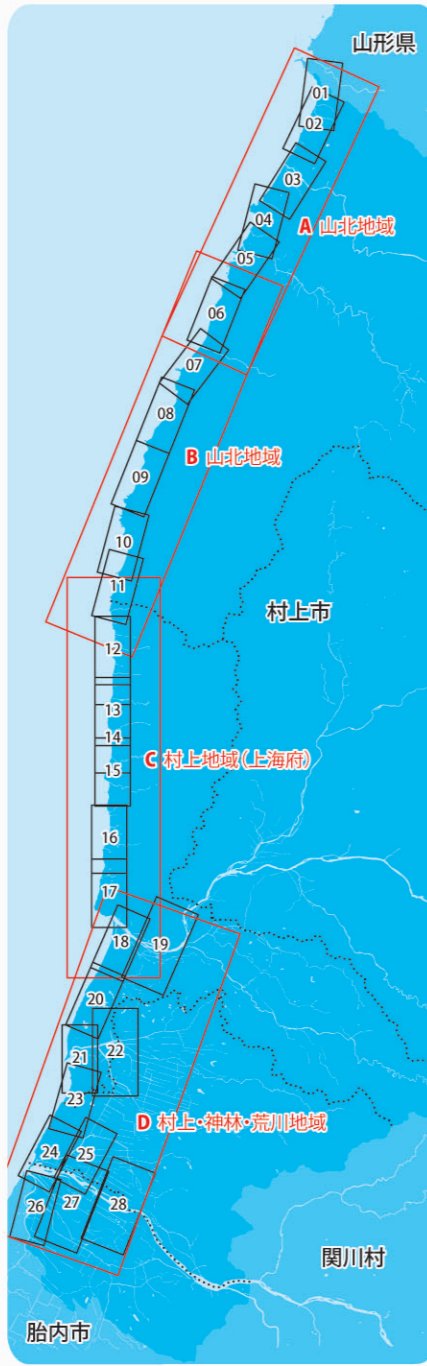
詳細図における、津波到達時間の見方

津波の到達範囲は海に近いところから放射状に広がります。場所によっては5分の線の次の20分の線になる場所もありますが、これは5分に到達する範囲と10分に到達する範囲が重なっているためです。これは5分後10分後津波の到達範囲は同じということであるとともに、10分以降20分までの間に浸水する範囲を表します。



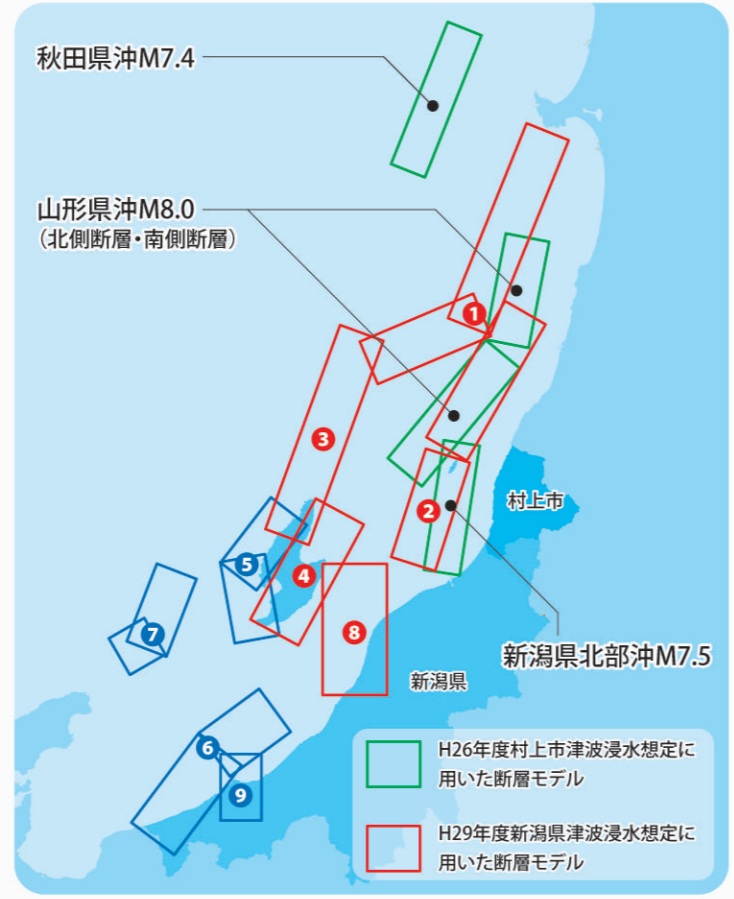
「逃げ地図」を確認しましょう

市では地域の皆さんと一緒に津波から避難するための「逃げ地図」づくりを進めています。「逃げ地図」は地図上に、避難の目標地点、そこまでのルート、所要時間を可視化できるよう、つくっています。「逃げ地図」は一度つくったら終わりではありません。「逃げ地図」をもとに避難訓練や安全点検などを繰り返し、より良いものにしていきます。



津波の想定地震について

このマップに示す津波浸水想定は、断層モデルごとにシミュレーション調査を実施し、浸水の深さと範囲を重ね合わせ(F30、F34、F35、F38、長岡平野西縁断層帯地震;下図参照)、最大となる浸水深を表示しています。

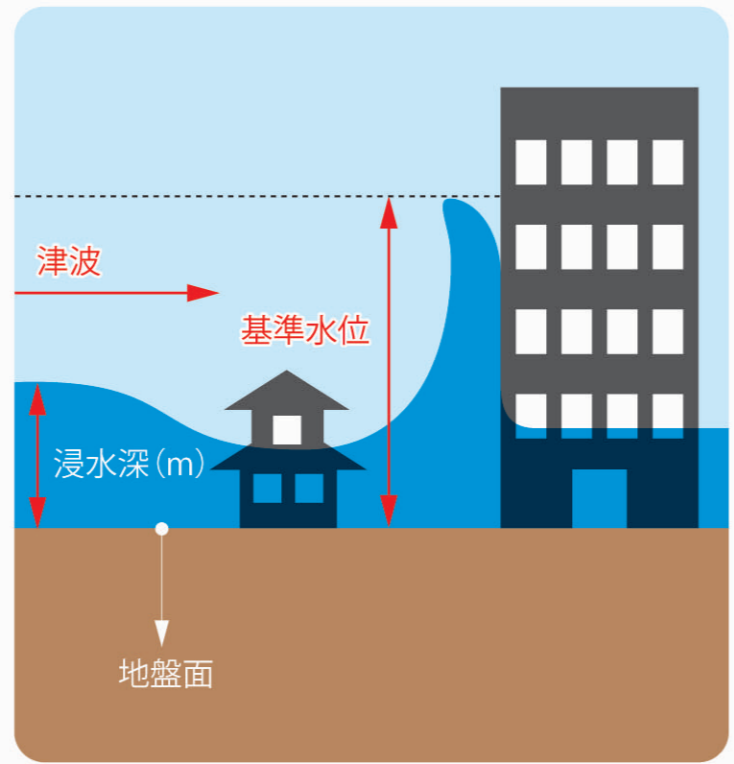


- 新潟県に影響が大きい断層と想定地震規模(M)**
- F30 秋田・山形沖 (M7.8)
 - F34 県北・山形沖 (M7.7)
 - F35 佐渡北 (M7.6)
 - F38 越佐海峡 (M7.5)
 - F39 佐渡西 (M7.4)
 - F41 上越・糸魚川沖 (M7.6)
 - F42 佐渡西方・能登半島北東沖 (M7.3)
- 追加断層モデル(県独自の陸地から海峡に伸びる断層)**
- 長岡平野西縁断層帯 (M7.6)
 - 高田平野西縁断層帯 (M7.1)

「津波浸水想定」は、新潟県沿岸に最大クラスの津波をもたらすと想定される地震が悪条件下(構造物の破壊等)において発生した場合を想定しています。
 ・最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
 ・荒川、堀川、烏川、乙次日川、石川、百川、笛吹川、助測川、三面川、勝木川、大川における河川遡上の影響も考慮されています。

基準水位とは

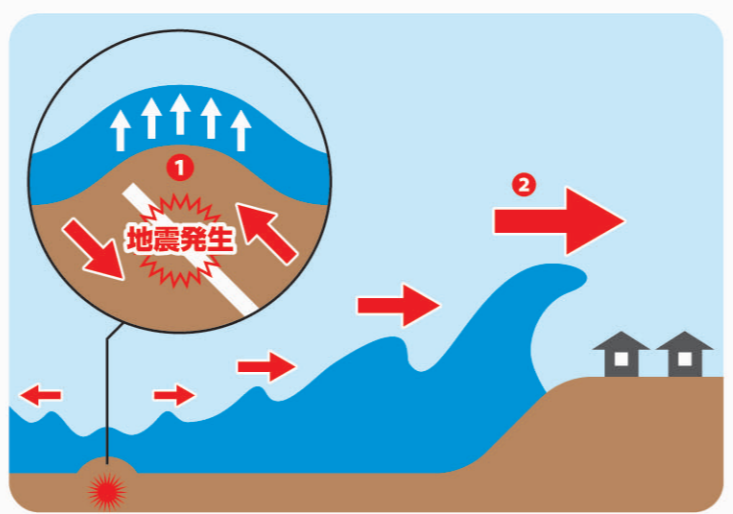
津波が建物等の衝突による水位の上昇を考慮した水位



津波発生時の仕組み

海底の地下の浅い所で大きな地震が発生すると、断層の運動により、海底の地盤が隆起・沈降したりします。この海底の変形に伴って海面が変動し、津波の原因となります。

- 地震により海底・海面が隆起・沈降
- 海面波動が大きな波となって四方八方へ伝わり、村上市沿岸部を襲います。



津波の特徴

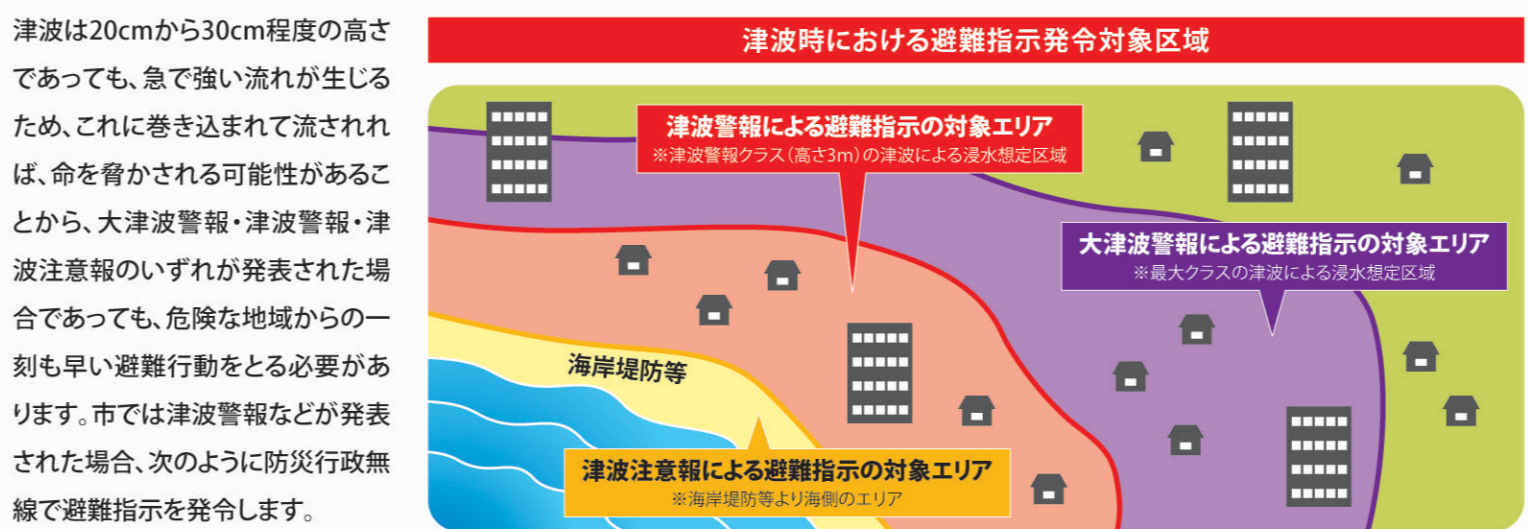
津波の速さはジェット機並み
 津波の速度は、日本海では時速720kmにもなり、ジェット機並みになります。

引き波が無くて来る
 地震の起こり方や、震源付近の地形によっては引き波が起こらないこともあります。

2波、3波と繰り返す
 津波は繰り返して襲ってきます。第1波が最大であるとは限りません。

津波の高さは想像以上
 津波の高さは、海岸の地形などに大きく左右されます。

津波時における情報伝達



津波警報等と放送例文

種類	発表基準	発表される津波の高さ	Jアラートによる放送	村上市からの避難指示放送
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m<高さ)	大津波警報が発表されました。海岸付近の方は高台に避難してください。	緊急放送、緊急放送。大津波警報が発表されたため、津波浸水想定区域に対し、避難指示緊急発令しました。ただちに避難を開始し、できるだけ高い場所や速く避難してください。こちらは、広報むらかみです。
	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	10m (5m<高さ≤10m) 5m (3m<高さ≤5m)	津波警報が発表されました。海岸付近の方は高台に避難してください。	緊急放送、緊急放送。ただいま津波警報が発表されたため、津波浸水想定区域に対し、避難指示を発令しました。ただちに避難を開始し、できるだけ高い場所や速く避難してください。こちらは、広報むらかみです。
	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	3m (1m<高さ≤3m) 1m (0.2m<高さ≤1m)	津波注意報が発表されました。海岸付近の方は注意してください。	緊急放送、緊急放送。ただいま津波注意報が発表されました。海岸や堤防付近は危険ですので、ただちに離れてください。こちらは広報むらかみです。

正しい知識が生死を分ける!

地震発生

避難の心得

避難に車は使わない
 ・車で避難することは避けましょう。渋滞に巻き込まれ、避難が困難になり、被害を大きくすることもあります。

3.11の教訓
 ・避難渋滞の車列ごと津波にのみこまれるケースが各地で発生した。

内陸よりも高台へ
 ・津波は海から遠く離れた内陸まで遡上します。海岸に近い地域で時間に余裕がない場合は、鉄筋コンクリート造の建物の3階以上に避難してください。

3.11の教訓
 ・仙台市では数百人が市指定の津波避難ビルに避難して無事。一方、ビルの屋上を津波が乗り越えたケースもあった。

河川から離れる
 ・河川をさかのぼる津波は速度が速く、避難の際に河川沿いの道や橋を通ることは危険です。河川から離れる方向に避難しましょう。

3.11の教訓
 ・津波は北上川を50kmさかのぼり、河口から17km上流で高低差3mの堤防を乗り越えた。

船に乗っているときは沖合へ(出港しない)
 ・津波は水深の深いところは波高は小さく、波長は長くなります。船に乗っているときはあわてて港に戻らずに、沖合へ向かいましょう。

3.11の教訓
 ・北海道根室市の落石漁業協同組合では、津波が襲来する直前に船を沖合へ退避させ、すべての漁船を被害から守った。

自宅に戻らない
 ・津波は繰り返して襲ってくるので、警報・注意報が解除されるまで警戒を怠らないようにしましょう。家族の安否を確認める、貴重品を取りに行くなどの理由で自宅に戻ってはいけません。

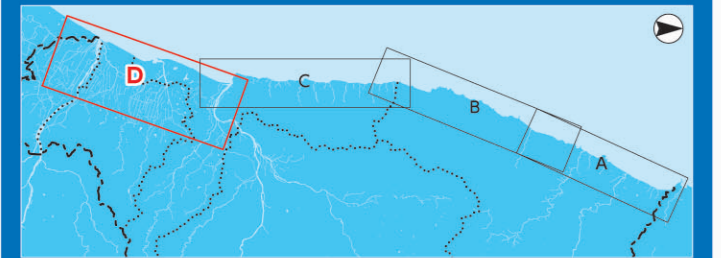
3.11の教訓
 ・津波は三陸沿岸に6時間、計7回にわたり押し寄せた。
 ・気象庁が東北太平洋沿岸に出していた津波警報を全解除したのは2日後の3月13日だった。

避難所について

このハザードマップに関するお問い合わせ先
新潟県 村上市 総務課危機管理室
 TEL 0254-53-2111 (代表)
 〒958-8501 新潟県村上市三之町1番1号

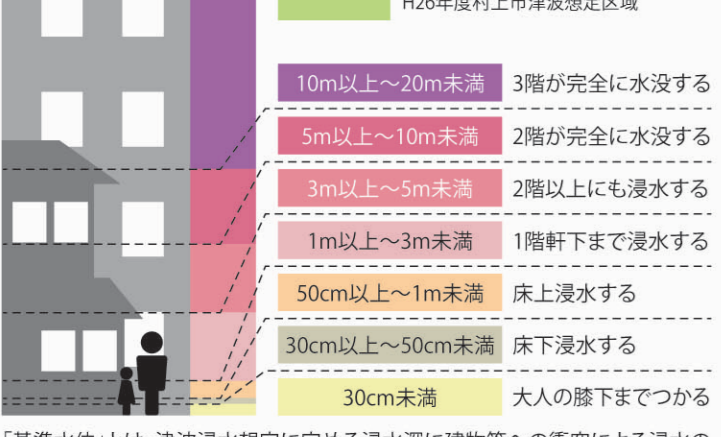
D 村上市津波ハザードマップ

村上・神林・荒川地域



津波警戒区域とは (水色の線)
 津波が発生した場合に、住民等の生命・身体に危害が生ずるおそれがある地域で、津波災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域。なお、村上市では、津波浸水想定(平成29年11月新潟県公表)の浸水域が津波災害警戒区域となります。
 ※このマップは、津波災害警戒区域の最も外側のラインを表示しております。

基準水位の目安



「基準水位」とは、津波浸水想定に定める浸水深に建物等への衝突による浸水の上昇を考慮し必要と認められる値を加えた深さです。

- 凡例**
- 津波指定避難所(海抜m)
 - 津波指定緊急避難場所(海抜m)
 - 沿岸代表地点の津波最高水位(m)
 - 海抜10m以上 浸水想定区域外の安全度の高い区域
 - 土砂災害警戒区域
 - 市役所・消防・警察・病院・保育園等(海抜m)
 - 高速道路 主要幹線道路 防災行政無線

津波到達時間は詳細図にて確認ください

